

R & Bホテル利用規約

R&Bホテルの公共性にご宿泊の皆様を安全に維持するため、
当ホテルをご利用のお客様には宿泊約款第10条にもとづき、
下記の規則をお守りいただくことをお願い致します。

この規則をお守りいただけない時は、
宿泊約款第11条により宿泊のご継続をおことわりさせていただく場合がございます。

記

- (1) 廊下および客室内で暖房用、炊事用などの火器およびプレス用のアイロンなどをご使用にならないで下さい。
- (2) ベッドの中など、火災の原因となりやすい場所で喫煙をなさらないで下さい。
- (3) 高声放歌や喧騒な行為、その他、他人に嫌悪感を与えたり迷惑を及ぼす行為をなさらないで下さい。
- (4) 廊下および客室内に次のようなものを含む違法なもの、危険なものをお持ち込みにならないで下さい。
(イ) 動物、鳥類。 (ロ) 著しく悪臭を発するもの。 (ハ) 著しく多量な物品。
(ニ) 火薬や揮発油など、発火或いは引火しやすいもの。
(ホ) 適法に所持を許可されていない銃砲、刀剣類。
- (5) 廊下および客室内で、とばくおよび風紀をみだすような行為をなさらないで下さい。
- (6) 許可なく外来者を客室内に引き入れたり、客室内の諸設備、諸物品などを使用させたりしないで下さい。
- (7) 客室やロビーを事務所、営業所がわりに使用なさらないで下さい。
- (8) 建築物や諸設備に異物をとりつけしないで下さい。
- (9) 当ホテル内で他のお客様に広告物を配布、あるいはいかなる営業活動もなさらないで下さい。
- (10) 外観をそこなような品物を窓にお掛けにならないで下さい。
- (11) 飲食物などの出前をおとりにならないで下さい。
- (12) 当ホテル内のインターネット回線を通じて、掲示板等への誹謗・中傷等、違法な書き込み及び、ファイル交換ソフトの利用等による大量データ送受信はなさらないで下さい。

以下の条項については了解があったものとみなし、宿泊の引き受けをいたします。

- (13) 宿泊料金のご精算は現金(日本円のみ)又はクレジットカードとさせていただきます。
- (14) お忘れ物の保管は、出発後(チェックアウト後)1ヶ月までとさせていただきます。
- (15) ワシントンカードのポイント加算、返金等のお取り扱いはいたしておりません。
- (16) 貴重品はお預かりいたしておりません。又、フロントにてお預かりするお荷物はチェックアウト当日中までにお引取りいただきます。

以上

※本規約の詳細は予告なく変更されることがあります。



R&Bホテル宿泊約款

(本約款の適用)

第1条 当ホテルの締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定められていない事項については、日本国の法令又は慣習によるものとします。

② 前項の規定にかかわらず、この約款の趣旨、日本国の法令及び慣習に反しない範囲で特約に応ずることができます。

(宿泊のお断りについて)

第2条 次の場合には、宿泊の引受けをお断りすることがあります。

- (1) 宿泊の申込みがこの約款によらないものであるとき。
- (2) 満室（員）により客室の余裕がないとき。
- (3) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定又は公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
- (4) 宿泊しようとする者が法定伝染病患者であると明らかに認められるとき。
- (5) 宿泊に関し特別の負担を当ホテルに対して求められたとき。
- (6) 天災、施設の故障その他やむを得ない理由により宿泊させることができないとき。
- (7) 宿泊しようとする者が泥酔等で他の宿泊者並びに従業員に著しく迷惑を及ぼすと認められるとき。
- (8) 宿泊者が他の宿泊者並びに従業員に著しく迷惑を及ぼす言動があるとき。
- (9) その他マネージャーが不適當であると認めるとき。

(宿泊予約の申込み)

第3条 宿泊日に先だつ宿泊の申し込み（以下「宿泊予約の申込み」という。）をお引受けした場合には、期限を定めて、その宿泊予約の申込者に対して次の事項の明告を求めることがあります。

- (1) 宿泊者の氏名、性別、国籍及び職業。
- (2) その他当ホテルが必要と認めた事項。

(宿泊料金の支払)

第4条 料金のお支払は、自動精算機による精算とさせていただきます。クーポン券、小切手、一括会社請求等、売掛・後日精算による取引は扱っておりません。

- ② 宿泊者が客室の使用を開始したのち任意に宿泊しなかった場合においても宿泊料金は申し受けます。
- ③ 「ワシントンカード」はご利用いただけません。

(予約の解除)

第5条 宿泊予約の申込者が、宿泊予約の全部又は一部を解除したときは、別表、違約金申し受け規定により、違約金を申し受けます。

- ② ご予約時の到着予定時間を過ぎても、宿泊者からの連絡がないときは、その宿泊予約は解除されたものとみなし処理することがあります。
- ③ 前項の規定により解除されたものとみなした場合において、宿泊者が、その連絡をしないで到着しなかったことが列車、航空機等公共の運輸機関の不着又は遅延その他宿泊者の責に帰さない理由によるものであることを証明したときは、第1項の違約金はいただきません。

第6条 当ホテルは、他に定める場合を除くほか、次の場合には宿泊予約を解除することができます。

- (1) 第2条第3号から第9号までに該当することとなったとき。
- (2) 第3条第1号の事項の明告を求めた場合において、期限までにそれらの事項が明告されないとき。



(宿泊の登録)

第7条 宿泊者は、宿泊日当日、玄関帳場（フロント）において次の事項を登録して下さい。

- (1) 第3条第1号の事項。
- (2) 外国人にあつては、旅券番号、国籍、日本入国地及び入国年月日。
- (3) 出発日及び時刻。
- (4) その他当ホテルが必要と認めた事項。

(ご利用時間帯)

第8条 宿泊者が、当ホテルをご利用頂ける時間は、チェックイン開始時間より翌朝午前10時迄とします。

- ② 深夜の午前0時に安全の為、入口玄関を施錠致します。それ以降、翌朝午前7時迄はインターホンでお知らせ下さい。
- ③ 朝食は午前6時半から午前9時半の間に定められた場所で御利用できます。

※一部ホテルにより、ご利用時間が異なります。

(チェックアウト)

第9条 宿泊者が、客室をお空けいただく時刻（チェックアウトタイム）は午前10時とします。

ただし、連泊される場合においては客室の使用を承ることがあります。この場合、必ず次の事項をお守り下さい。

- (1) ご使用は、連泊のお客様に限ります。
- (2) あらかじめ、客室扉外のドアノブに“清掃不要”カードを掛けて下さい。
- (3) お部屋の掃除、シーツ等の交換はいたしません。
- (4) タオル類はフロントでご用意しておりますので、お立ち寄り下さい。
- (5) 安全及び衛生管理上必要な場合、客室への立入りをさせていただく場合があります。
- (6) 午前10時を過ぎてから掛けられていた、“清掃不要”カードを外されても、その日の清掃はいたしかねます。

(利用規則の遵守)

第10条 宿泊者は、当ホテル内において、当ホテルが定めて施設内に掲示した利用規則に従っていただきます。

(宿泊継続のお断りについて)

第11条 お引受けした宿泊期間中といえども、次の場合には宿泊の継続をお断りすることがあります。

- (1) 第2条第3号から第9号までに該当することとなったとき。
- (2) 前条（第10条）の利用規則をお守り頂けない場合。

(宿泊の責任)

第12条 当ホテルの宿泊に関する責任は、宿泊者が玄関帳場（フロント）において宿泊の登録を行なった時に始まり、宿泊者が出発するため客室をあけたときに終わります。

- ② 宿泊者が滞在時には、火災等の緊急時を除き、客室内に係員は入室いたしません。
- ③ 客室の各種設備、備品類において、故障・不良等が生じた場合は、可能な範囲内で代用品のお渡し、または別の客室をご用意いたします。事情によりこれらの対応ができない場合は、宿泊料金の一部を返金いたします。
- ④ 当ホテルの責に帰すべき理由により宿泊者に客室の提供ができなくなったときは、天災その他の理由により困難な場合を除き、その宿泊者に同一又は類似の条件による他の宿泊施設をあっせんします。この場合には客室の提供が継続できなくなった日の宿泊料金を含むその後の宿泊料金はいただきません。
- ⑤ 当ホテルの責に帰さない事由又は不可抗力により、宿泊者に対して客室の提供が出来なくなった場合については前項の対象外として当ホテルはその責任を負いません。
- ⑥ 宿泊者が当ホテルに掲示した利用規則に従わない為に発生した事故に関しては当ホテルはその責任を負いません。
- ⑦ 宿泊者の貴重品のお預かりはいたしておりません。宿泊者自身で管理して下さい。万一の紛失・盗難に対して当ホテルは責任を負いかねますのでご注意下さい。
- ⑧ 係員が受け取ったメッセージ、メモ及びファックスがある場合、お申し出があればお渡しいたしますが、その際身分証明書等の提示を求められることがあります。万一、お客様に情報が伝達出来なかった、又は伝わるのが遅かった等のトラブルについては、その結果の如何に関わらず当ホテルでは一切の責任を負いません。
- ⑨ 館内インターネット回線は無料でご利用いただけますが、全ての状況で接続を保証するものではありません。通信速度が遅い、あるいは接続ができないという状況が発生した場合でも、当ホテルでは、それに伴う損害の補償はいたしかねます。※VPNへの接続や、一部サイトへのアクセスはご利用いただけません。

●違約金申受け規定

取消し部屋数	不泊	キャンセルの申込を受けた日時				
		当日22時	当日18時	前日	3日前	1週間前
5室以下	100%	80%	50%	—	—	—
6室～29室	100%	80%	80%	50%	50%	—
30室以上	100%	100%	100%	80%	80%	50%

※但し、事前の特約があった場合はこの限りではありません。※宿泊料金に対する比率となります。

暴力団排除事項

当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。

1. 宿泊しようとする者が、次のイからハに該当すると認められとき。
 - イ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条2号に規程する暴力団（以下「暴力団」という。）、同条第2条第6号に規程する暴力団員（以下「暴力団員」という。）、暴力団準構成員または暴力団関係者その他の反社会的勢力
 - ロ 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
 - ハ 法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの
2. 宿泊しようとする者が宿泊施設もしくは宿泊施設職員（従業員）に対し、暴力、脅迫、威圧的な不当要求を行ない、あるいは、合理的範囲を超える負担を要求したとき、またはかつて同様な行為を行ったと認められるとき。

当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約を解除することがあります。

1. 宿泊しようとする者が他の宿泊者に対して著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
2. 宿泊しようとする者が、次のイからハに該当すると認められるとき。
 - イ 暴力団、暴力団員、暴力団準構成員または暴力団関係者その他の反社会的勢力
 - ロ 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
 - ハ 法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの
3. 他のお客様に著しい迷惑を及ぼす言動をした場合。
4. 宿泊施設もしくは宿泊施設職員（従業員）に対し、暴力、脅迫、恐喝、威圧的な不当要求を行ない、あるいは、合理的範囲を超える負担を要求したとき、またはかつて同様な行為を行ったと認められるとき。



Regulations

To maintain the "R & B HOTELS" reliability and comfortableness, the hotel guests are requested to strictly observe the following rules and regulations in accordance with Article 10 of the "Provisions Governing Accommodation Agreement".

In case that any of these rules is violated by a guest, his or her stay at "R & B HOTELS" will be discontinued regardless of previous reservations, in accordance with Article 11 of the "Provisions Governing Accommodation Agreement."

Notice

- (1) Not to use any burner or the like for heating or for cooking in any place in the hotel.
- (2) Not to smoke in bed or places in the hotel where a fire could easily start.
- (3) Not to annoy others by making a loud noise or disgusting behavior.
- (4) Not to bring illegal or dangerous items into the hotel including the following:
 - a. Animals and birds, and the like.
 - b. Things with a bad smell.
 - c. Unreasonable amounts of items.
 - d. Explosive items including gunpowder, gasoline.
 - e. Guns and swords and the like.
- (5) Not to gamble or perform anything going against public policy and morals.
- (6) Not to invite visitors into the rooms and/or not to allow them to use the furniture and the fixtures in the hotel.
- (7) Not to use the room or the lobby of the hotel as a business office.
- (8) Not to put foreign article(s) on or remove the furniture, fixtures and equipment.
- (9) Not to deliver any flyers or the like and not to perform any business activities in the hotel.
- (10) Not to hang or put foreign articles on or near the windows, which may obstruct the hotel views or scenes.
- (11) Not to order meals or drinks to be delivered.
- (12) Not to use the hotel internet connection to write abusive, defamatory, illegal or other such remarks or comments on any online message board or forum, or to download/upload large amounts of data using file sharing software, etc.

The hotel shall provide accommodation on the condition that the guest agrees with the following:

- (13) Use only Cash (Japanese yen) or credit card.
- (14) Personal belongings left behind by a guest will be kept for one month after he/she departs.
- (15) "Washington Card" is not available (including points accumulation or "Cash Return")
- (16) The hotel will not keep any valuable items. Also, baggage being kept at the front desk should be picked up before and/or during the very day of check-out.

"R & B HOTELS" may find it necessary to change the regulations above.

Provisions Governing Accommodation, "R & B HOTELS"

(Application of Provisions)

Article 1

- 1-1. The Accommodation Contracts and related contracts with our guests to be entered into by the hotel shall be in accordance with the provisions and particulars herein provided. If anything does not apply to any of the following provisions and the regulations, it shall be made in accordance with the Laws and customary practices of Japan.
- 1-2. The hotel has the right to enter into special agreements to the extent that they will not dispute the spirit of these provisions or the Laws and customary practices of Japan.

(Rejection of Accommodation Requests)

Article 2

The hotel will refuse to offer accommodation in the following circumstances:

- (1) When the accommodation request does not meet the provisions mentioned.
- (2) When the rooms are fully booked and no room is available.
- (3) When a person making reservations is deemed liable to conduct oneself in a manner contrary to that provided in the Laws or the maintenance of public policy, morals, through his/her stay in the hotel room.
- (4) When a person making reservations can be clearly found to have an infectious disease designated by law.
- (5) When a person making reservations asks the hotel for a special burden which is unreasonable.
- (6) When the hotel is incapable of providing the accommodation due to a natural calamity, damage to the facilities and other unavoidable causes.
- (7) When the person desiring accommodation greatly annoys and troubles other guests and employees because he/she is drunk, violent and the like.
- (8) When the guests speak or behave in a manner which greatly annoys and troubles other guests and employees.
- (9) When the manager finds the person desiring accommodation unsuitable to let him/her stay at the hotel.

(Clarification of Name, etc.)

Article 3

When the hotel has accepted a request for accommodation in advance of the day of occupancy (hereinafter, "request for accommodation"), the following items may be asked, within a designated period, of the person making reservations.

- (1) Name, sex, nationality and occupation of the person(s) who will stay at the hotel
- (2) Other particulars deemed necessary by the hotel

(Payment)

Article 4

- 4-1. All the payments in the hotel shall be transacted by the automatic check-in machine (which is called the "ATM"). the hotel shall not accept coupon, or bills to companies or persons.
- 4-2. The hotel shall not reimburse payments made, even if the guest does not use the room after he/she checked in through the ATM.
- 4-3. A "Washington Card" cannot be used in this hotel.

(Cancellation of Reservations)

Article 5

- 5-1. A person shall be charged a cancellation fee (as stated in the table of cancel policy) if he/she cancels the whole or a part of a reservation.
- 5-2. The hotel may consider a reservation to have been canceled if the scheduled arrival time for the guest's reservation has passed and the guest has not appeared or contacted the hotel.
- 5-3. In case the reservation is considered to have been cancelled based on the regulation, and the reason that the person could not arrive and was unable to contact the hotel was because of a delay of the public transport such as trains and airplanes, that person shall not be held liable for the above cancellation fee if he/she can produce a certificate of delay issued by the public transport authority.

Article 6

The hotel is entitled to cancel reservations for accommodation in the following circumstances:

- (1) When clauses 3 to 9 of Article 2 apply.
- (2) When the clarification of particulars in clause 1 of Article 3 has not been complied with, within the designated period.

(Registration)

Article 7

Every guest shall fill out the registration form at the hotel front desk, on the day of his/her stay.

- (1) Particulars stated in clause 1 of Article 3.
- (2) As for a foreigner, his/her passport number, nationality, disembarking port and date of landing in Japan.
- (3) Date and hour of check out.
- (4) Other particulars required by the hotel.

(Lodging Hours)

Article 8

- 8-1. Guests can check in from the predetermined check-in time, and must vacate the room by 10:00 a.m. of the following day (except in cases mentioned in Article 9-2)
- 8-2. The front door will be locked at 12:00 midnight every day. If the guest arrives after midnight and before seven in the morning, he/she can contact the receptionist of the hotel through the interphone.
- 8-3. Guests can have breakfast in the designated breakfast room between 6:30 a.m. and 9:30 a.m. .

(Check-out Time)

Article 9

Guests must vacate their rooms by 10:00 a.m. of their check-out dates.

The hotel allows for exceptions to the above provisions in the case of a guest who satisfies the following conditions.

- (1) If a guest stays in the hotel room for more than a day, he/she can remain in the same room.
- (2) The guest put the "Do not disturb" tag on the door knob the previous night.
- (3) The staying guest shall accept that room cleaning, including changes of sheets, is not performed on the day.
- (4) Towels are in reception desk. Please stop and receive it.
- (5) The guest accepts that, in case management needs to enter the room for the reasons of sanitation, emergencies, or otherwise, the staff may enter the room.
- (6) In case a "Do not disturb" tag is placed on the outside of the door and taken down again by the guest any time after 10:00 a.m., the hotel will not be able to clean the guest's room that day.

(Regulations)

Article 10

The guest shall follow the hotel regulations as described in the directory while he/she is staying at the hotel.

(Rejection of Continued Occupancy)

Article 11

The hotel may reject and stop the continued occupancy of a room, even during a period previously accepted, in the following circumstances:

- (1) When clauses 3 to 9 of Article 2 apply.
- (2) When the guest does not observe and breaches the rules and regulations stated in the previous Article 10.

(Responsibilities on Accommodation)

Article 12

12-1 The responsibility of the hotel shall start from the time a guest is registered using the ATM in the lobby and shall terminate at the time he/she checks out the room.

12-2 During the guest stay, the hotel clerks will not enter the room except the emergency such as a fire.

12-3 In case of breakdown/defect in hotel facilities and furniture of the guest room, we will give the substitute items as possible, or prepare another room. If we cannot deal with those problems by circumstance, we will refund part of the room charge.

12-4 If the hotel cannot provide a room through its own fault, it is held liable for arranging accommodation for the guest elsewhere of the same or similar standard (except in cases of natural calamities or force majeure, in which cases the guest shall not be charged for accommodation for that day).

12-5 The hotel shall not accept responsibility in cases of force majeure or accidents not caused by the hotel,

12-6 The hotel shall not take responsibility for accidents caused by a guest's failure to observe notices.

12-7 The hotel shall not keep any personal belongings of a guest.

The hotel asks a guest to keep belongings on his/her own account.

The hotel shall not take responsibility for lost, damaged or stolen property of the hotel guest.

12-8 A notice shall be put on the notice board when the hotel receives messages or facsimile transmissions.

The guest may be asked to show identity before he/she is given the message/fax.

The hotel shall not take responsibility for problems occurring because the guest did not get the information soon enough.

12-9 Although the hotel's internet connection can be used free of charge, the hotel cannot guarantee that the connection will meet all conditions anticipated by the user. The hotel will not compensate guests for damage or loss resulting from a slow connection speed and/or failure to connect.

※It is not possible to access virtual private networks (VPNs) and certain websites.

Cancel Policy

Number of cancellations	No show	The date of cancellations				
		Until 22 o'clock of the day	Until 18 o'clock of the day	Until the day before	Until the 3days before	Until a week before
Under 5 rooms	100%	80%	50%	—	—	—
6 rooms~29 rooms	100%	80%	80%	50%	50%	—
30 rooms or more	100%	100%	100%	80%	80%	50%

※However, this articles are not necessarily applied when there is a prior special contract.

※It is a ratio to the room charge.